事業所名　アイダージュニア武庫之荘教室

支援プログラム

作成日　令和 7 年　2 月　15 日

法人（事業所）理念	『わたしはわたしでいい』とありのままの自分を好きになり、笑顔で咲かせる一人ひとりの「できるよろこび」を理念に、皆が自信をもって生活できるように一人ひとりの自己肯定感や挑戦する気持ちを高め、生き生きと毎日を過ごせるように支援していきます。サービスではなくホスピタリティでお子さまと向き合い、自分で考え行動できる力をつけ他者と協力する楽しさを学べるように支援していきます。			
支援方針	一人ひとりの個性を尊重し、「やってみよう！」というチャレンジの気持ちから「できた！」という喜びや達成感を積み重ねて行き、たくさん認めてもらえる経験から自己肯定感を高められるよう支援します。 ●児童発達支援：個々の成長や課題に対し一人ひとりのペースに合わせた支援を行います。　●放課後等デイサービス：運動療育を多く取り入れていき「社会的スキルの向上」「学習能力や集中力の向上」「ストレスの軽減」など子どもたちの総合的な成長を支援していきます。			
営業時間	9 時　0 分から　18 時　0 分まで	送迎実施の有無	あり　なし　児童発達支援のお子さまは保護者送迎	
本人支援 健康・生活	健康状態のチェックや心身の異変に気付けるよう、きめ細かな観察を行います。 付けなど基本的な生活リズムを身につけられるよう支援します。 間を本人にわかりやすい方法で伝えていきます。 準備や手洗い、うがい、片 その日の活動や説明などは視覚支援を用いるなど時間や空			
本人支援 運動・感覚	ボルダリングやトランポリンなど、全身を使う大きな運動や手指を使う細やかな運動を多く取り入れ、遊びながら感覚運動を育くんでいきます。 運動療育を通じて学習能力や集中力の向上に繋げていきます。 ループで一緒に遊びながら楽しさや喜びを共有することで、ルールや協力することの大切さが理解でき、協調性を養っていきます。 チームやグ			
本人支援 認知・行動	人の話を聞いたり、周囲の様子を見たりして情報を取得し、自分で考えて行動できるよう支援します。 ケジュール表の掲示）や時計やタイマーを使用した支援を行い、事前予告や一日の流れを伝えます。 援を行います。 視覚的な支援（ス 感覚や認知の偏り等の個々の特性に配慮した支			
本人支援 言語 コミュニケーション	集団活動を通して自分の思いを相手に伝える機会を作ります。その中で話す経験や聞いてもらえる経験を積んでいき自己発信ができるよう支援します。 達支援では、関わり遊びや絵カード・指差し・ジェスチャーなど個々に合わせた方法で体験的に言語の習得ができるように支援します。 の前で発表する機会を設け自分の思いを伝えたり、相手の意見を聞いたりしながら交流を楽しめるよう支援します。 児童発 放課後等デイサービスでは、皆			
本人支援 人間関係 社会性	活動や遊びを通して集団生活に必要なルールやマナーを守って行動できるよう支援します。 の交換をしたり、共に協力し合ったりして社会性を育んでいきます。 たり、公共交通機関を利用したりして公共マナーやルール、安全についても学んでいきます。 グループ活動を通して意見 放課後等デイサービスでは外出レクで公園や施設・店舗に行っ			
家族支援	連絡帳や送迎時の会話など、随時情報共有をすると共に定期的な面談を行い、安心してご利用いただけるよう努めてまいります。 お子さまの成長を共に喜んだり、子育ての悩みやご相談に応じてまいります。	移行支援	併行機関や移行先への情報の共有をしていきながら、お子さまにとって過ごしやすい環境や支援の共有を行ってまいります。	
地域支援・地域連携	イベントへの参加や公共施設（公園・生涯学習プラザ・図書館）を活用し、地域と交流する機会を持ちます。	職員の質の向上	虐待防止・防犯・災害・感染症に関する研修を定期的に実施しています。日々の振り返りを実施し、その中で必要に応じ勉強会を開催しています。	
主な行事等	主たる行事は、夏まつり・ハッピーハロウィン・クリスマス会。それ以外に、シアター観賞会・お出かけレク・クッキング等月に1～2回開催。			